

# 大矢 絢子

ウィーンの音楽家たちとともに

大矢 絢子 ピアノ

*Ayako Ohya, Klavier*

クリストフ・エーレンフェルナー ヴァイオリン

*Christoph Ehrenfellner, Violine*

ヘルベルト・ミュラー ヴィオラ

*Herbert Müller, Viola*



## Programm

アンリ ヴュータン/ヴィオラとピアノのためのソナタ 変ロ長調 Op.36

*Henri Vieuxtemps (1820-1881): Sonate für Viola und Klavier B-dur Op.36*

ロベルト フックス/ヴァイオリン ヴィオラ ピアノのための三重奏曲 嬰へ短調 Op.115

*Robert Fuchs (1847-1927): Trio für Violine, Viola und Klavier fis-moll Op.115*

ロベルト シューマン/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 二短調 Op.121

*Robert Schumann (1810-1856): Sonate für Violine und Klavier Nr.2 d-moll Op.121*

※曲目が変更となる場合があります。予めご了承下さい。



MUSICASA

ムジカーザ 東京都渋谷区西原3-33-1 03-5454-0054

全席自由 3,500円

■お申し込み

e+(イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯共通)

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 [www.t-bunka.jp/ticket](http://www.t-bunka.jp/ticket)

全日本ピアノ指導者協会 [www.piano.or.jp/concert/support](http://www.piano.or.jp/concert/support)

KammermusikKonzert 事務局 050-5583-6746

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

■お問い合わせ

KammermusikKonzert 事務局 050-5583-6746

2015/9/25 金

19:00 開演 18:30 開場

ウィーンの別名は「楽都」である。そして、この街で生まれ育った音楽家が奏する楽想には、「別格」と評しても過言ではないような気品と香気が漂う。

ピアニストの大矢絢子は、その楽都・ウィーンから訪れるアンサンブルの名手たちと、これまで数々の名演奏を披露してきたが、今年は彼等とのデュオを中心に想を練って、素敵でユニークなプログラムを用意した。

初秋の一夜、聴き逃せないコンサートになると思う。

音楽プロデューサー 中野 雄

Profile



Ayako Ohya

大矢 絢子 (ピアノ) Ayako Ohya, *Klavier*

横浜市出身。3歳よりピアノを始める。

鎌倉市学生音楽コンクール小学校低学年の部第1位。ピティナピアノコンペティションC級全国決勝大会奨励賞受賞。1998年アメリカ・ソルトレイクシティにてジーナ・バックアッワー国際ピアノコンクールエキシビジョンコンサート出演。かながわ音楽コンクール中学生の部最優秀賞、横浜市長賞受賞。入賞者記念演奏会出演。2000年ドイツ・エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールファイナリスト。ウィーン・ベーゼンドルファーザールでのコンサートに出演。2004年「モーツァルト協奏曲の夕べ」にて日本ニューフィルハーモニー管弦楽団と協演。日本演奏家コンクール大学生部門奨励賞受賞。第77回横浜新人演奏会出演。NHKBS「びあひのピア」プロモーションCMにてピアノ演奏を担当。2012年3月、大船渡市でのローム被災地コンサートにて神奈川フィルハーモニー管弦楽団・東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団合同オーケストラと演奏。10月、元バイエルン放送交響楽団コンサートマスターエルネ・セベスチャン(Vn)、元フランツ・シューベルト弦楽四重奏団ハルトムート・バシャー(Va)、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団アダルベルト・スコッチチ(Vc)の各氏と共演。2013年Hakuj Hallにてソロリサイタルを開催。「ムジカノヴァ2014年3月号」に高評が掲載される。2014年クリストフ・エーレンフェルナー(Vn)、ヘルベルト・ミュラー(Va)の各氏と共演。

日本女子大学附属中学校・高等学校卒業、2006年桐朋学園大学卒業。2008年桐朋学園大学研究科修了、桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻修士課程修了(論文題目:「シューベルト ピアノソナタの研究<ピアノソナタ第21番変奏長調>(D960)を中心に」)。2008~15年桐朋学園大学専任演奏員。

ソノの他、器楽や声楽とのアンサンブル、オーケストラのピアノ・チェレスタ奏者、コンクールの公式伴奏等で活動し、多数の演奏会に出演している。ピアノアンサンブルユニット「KARTY」、クラリネットとのデュオ「duo feuilles」、クラリネットトリオ「Trio Fogle」を結成し、定期的に演奏会を開催する。

これまでにピアノを吉富真里、大坪サイ、日比谷友妃子、佐藤俊、船津聡子、深澤亮子、三上柱子、野島穂の各氏に師事。国内外のマスタークラスを多数受講し、故アンリエット・ビュイグ=ロジェ、フランク・ウィボウ、ヴィクター・ローゼンバウム、故ポール・ボライ、ジャック・ルヴィエ、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、アレクサンダー・イエンナー、マインハルト・プリント、ステファノ・マストランジェロ他、各氏のレッスンを受ける。室内楽を中井恒仁、藤井一典、新実徳英、藤原真雄、岩崎岩、岩崎源の各氏に、チェンバロを有田千代子氏に、ソルフェージュを故竹島悠紀子氏に師事。日本演奏連盟会員、全日本ピアノ指導者協会正会員、日本音楽舞踊会議青年会員、カローラ会員。



Christoph Ehrenfeller

クリストフ エーレンフェルナー (ヴァイオリン) Christoph Ehrenfeller, *Violine*

1975年ザルツブルク生まれ。ウィーン少年合唱団に在籍した。ヴァイオリンおよび声楽をザルツブルク・モーツァルトウム音楽院で学び、ウィーン音楽大学ではゲルハルト・シュルツおよびレオポルド・マルクの指揮科に在籍。ウィーン・ジュネス・オーケストラ、カンマーフィルハーモニー交代契約者でもある。室内楽の分野でも幅広く活動。世界各地で多彩なパートナーたちと演奏し、ザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、ブダペスト・バルトーク音楽祭に出演した。最近、ソリストとしてウィーン楽友協会においてリサイタルデビュー。モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番をJuvenil de Caracasオーケストラと共演。Infatil de Caracasオーケストラを指揮した。第1回仙台国際音楽コンクールに招待された唯一のオーストリア人演奏家。作曲活動においては、2014年彼の最初の主要作品である古代ローマ詩人オビディアスの「愛の抒情詩」から題材をとった室内音楽劇がウィーンで大盛況を博した。これに喚起され、彼自身の音楽を演奏するため、アンサンブル・シファンノイ(Ensemble Schifanoia)を結成した。



Herbert Müller

ヘルベルト ミュラー (ヴィオラ) Herbert Müller, *Viola*

1957年ウィーン生まれ。ウィーン・コンセルヴァトリウムで学び、首席で卒業。更に、ウィーン音楽大学でジークフリート・フーリンガー教授に師事した。1986年にウィーン交響楽団に加わり、ヴィオラ第一ソロを務める。ウィーン交響楽団では、ラファエル・フリーベック・ド・ブルゴス、レオポルト・ハーガー、ペーター・ギュルケ、ウルフ・シルマーといったマスターの指揮のもと、しばしばソリストとして出演。またオーケストラの海外ツアーにおいて、モーツァルトのシンフォニーコンチェルトンまたはRシュトラウスのドン・キホーテをソロで演奏。近年は、ローレンス・フォスターの指揮下で、リスボン・グルベンキアン・オーケストラや、ポーランド・ルブリンのヴィニエアフスキ・フィルハーモニーとも共演している。長年にわたりグリンカ・アレクコフ・カルテットと共に室内楽を演奏。また何年もの間、Vienna Concertinoのメンバーとして、欧米においてコンサート、ラジオレコーディング活動をしている。1992~1994年はウィーン音楽大学で講師を、1984年からはウィーン・コンセルヴァトリウムにてヴィオラクラスの主任を務める。



MUSICASA

ムジカーザ

〒151-0066東京都渋谷区西原3-33-1 03-5454-0054

http://www.musicasa.co.jp

小田急線・東京メトロ千代田線代々木上原駅東口より徒歩3分

一般のお客様駐車場はございませんので、近隣のコインパーキングをご利用ください。

Access